

聖霊降臨 2019年



親愛なる姉妹と友人の皆様

聖霊降臨の喜びに満ちたお祝いが近づきました。私たちは今年幼きイエス会として意味深い出来事である、総会の直前にお祝いします。お祈りで心をつにしましょう。総会のあいだ、また私たちの日常生活において聖霊がどのように

導いてくださるか、心を開いていきましょう。

聖霊降臨の福音朗読はヨハネ 20 章 19 節から 23 節です。イエスの弟子たちは怖れて鍵のかかった部屋にいます。イエスの弟子である彼らはイエスと同じように逮捕されるのではないかと、あるいは最悪の事態に直面することになるのではないかと、おびえていました。そこに突然、彼らの真ん中にイエスが現れます。いつもの通り、ユダヤ人として「シャローム」と挨拶します。「平和があなたたちと共にあるように」と。そうあればよいという願いのように受け取れますが、実際には「あなたたちと共に平和がある」との意味にも理解できます。イエスと共にいるとき私たちはイエスだけが与えることが出来る平和を体験します。最後の晩餐のときイエスは弟子たちに特別な平和を与えると約束しました。他のどこでも見いだせない平和を、そして誰も、何も彼らから奪うことが出来ないような平和を。

弟子たちは上の部屋に鍵をかけて閉じこもっていました。権力者たちを恐れていたからです。彼らは自分たち自身の恐怖、怒り、自責の念、また喪失感の中にも閉じこもっていました。イエスはすべてを打ち破ります。イエスは彼らの間に現れ、復活の最初の賜物である赦しと平和を分かちました。御父がイエスを派遣したように、他の人々にも同じ賜物を分けるよう弟子たちに委ねます。

復活された主の平和と聖霊からのすべての賜物によって、鍵のかかっていた部屋の扉が開き、さらに弟子たちの心と人生の扉をも開きました。彼らが受けた平和と喜びは、たちまち周りの人々に伝わっていきました：ユダヤ人、ユダヤ人でない人に、さまざまな国の見知らぬ人々に、さらに異なる言語を話す人々に。この賜物は誰でも受けることが出来たのです。聖霊降臨のとき使徒たちは普遍的な言語を話しました：

**聖霊なしに、キリスト者の道を歩くことはできません。
(教皇フランシスコ)**

愛、平和、赦し、そして希望という言葉です。これらは神の力ある業と弟子たちへの呼びかけの物語です。この呼びかけはどんな人も聴く事ができ、理解できるものです。キリストとの関わり、さらに互いの関わりに入るようにとの呼びかけです。かつておびえていた弟子たちは今、疑いもなく喜びに満ちています。

ミッションへの呼びかけが続きます。「御父が私を遣わされたように、私はあなたたちを派遣する。」（ヨハネ 20：21）バトンは引き継がれます。聖霊降臨の日に、キリストがこの世にますます現存しつづけるよう聖霊が働きます。聖霊に駆り立てられたミッションにおいて、イエスに従う者たちは「聖霊の働きに対し怖れることなく自らを開いている」ように呼びかけられています。（福音の喜び 259）

イエスは従う者みなに向かってイエスと一つになるように、イエスの態度、価値を身に付け、彼が生きたように生き、彼のミッションを分かち合うようにと招きます。私たちがまた、他の人々の中に存在し、生きているイエスに出会います。特に自分たちがよく知らない人々に会う時、イエスに出会うのです。耳を傾け、学ぶことによって、私たちは聖霊に満たされ、私たちの生活の中でイエスのようになることができます。

平和をもたらす、それはキリストの弟子のミッションの中心的なことです。この平和は人類の歴史に刻まれる悲劇や暴力の真ただ中で平和を切望する人々に差し出されるのです。今までになく、今日の社会は「平和を造りだす人（職人）」を必要としています。平和を造りだす人は、人類家族の善と幸福をひたすら望んでいる、父である神のメッセンジャーであり証し人です。（2019年 世界平和デーのメッセージ）

日々私たちが出会う人々とキリストの平和を分かち合いたいという、エネルギーまたそうした強い望みを聖霊が私たちの中に溢れさせてくださいますように。

私たちはすでに神の霊に耳を傾けるよう祈り続けています。「聴きなさい！私はあなたたちを新しい道へと送り出す」のテーマのもとに始まる総会の準備をしていますか



ら。これは、幼きイエス会の中で神が今日どのように私たちを呼んでくださっているかを共に探す識別の時です。

深く耳を傾けること、さらに神の霊に対して心を開いていることによって、新しい道に導かれるでしょう、あるいは現在歩いている道を刷新することになるかもしれません。教皇フランシスコは私たちに語ります。

「私たちは聖霊なしにキリスト者の道を歩くことはで

きません。聖霊は日々共に歩く仲間であり、御父からの賜

物イエスからの賜物です。聖霊と共に歩かないなら、聖霊と共に行動しないなら、

聖霊が私たちの生活の中心にいてくださらないなら、私たちはキリスト者ではない、
というこの気づきを与えてくださいと主に祈りましょう。」（2019年4月の説教）

神の望みを識別することと聖霊の働きはどちらも初代共同体の初めのころと同じように、
今日でも大切なことです。教皇フランシスコが言われるように、識別の賜物は今日
さらに必要になって来ています。この識別は特別な時のためだけではありません。
神の忍耐、神のタイミングを見分けるために絶え間なく識別が必要です。「聖霊の導
きに身を委ねること以上に大きな自由はないのです。一切の計算と管理をやめて、聖
霊に照らされ、導かれ、方向づけられ、聖霊の望まれるところへと駆り立てられるの
です。すべての時代、そしてあらゆる瞬間において、何が必要であるかを聖霊はご存
知です。」（福音の喜び280）

聖霊降臨と総会の間、皆さま、シスター、友人、仲間の一人ひとりをお願いいたしま
す。すべての人にとっての新しい命と希望への途上におい
て、聖霊が総会代表者を導いてくださるようお祈りくださ
い。ニコラ・バレも私たちのためにとりなし、祈ってくださ
っていると確信します。死の寸前、ニコラ・バレは会について
私たちに保証しているからです：

「聖霊がいつも会に命を与えて下さるように、いつも
会の陣頭指揮をとってくださるように、
聖霊に祈ります。」（死の証言9）



公子、マリア、ノーリーンと共に祈ります。聖霊によって私たちが平和の人にな
るように、私たちの心に希望が呼び起こされいのちの充満と真理に導かれます
ように。

Maie

マリ

総顧問会を代表して